

教科名	芸術	科目名	書道 I	履修単位数	2 単位	履修年次	2 ～ 4 年次
授業形態	一斉授業						
履修条件	特になし						
使用準教科書	書道 I（教育図書）						
副教材等	特になし						
授業担当者	山口 紀幸						

1 学習目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 指導のねらい

- ・ 書に親しむ。
- ・ 書を鑑賞できる。
- ・ 基礎的な表現ができる。

3 指導計画〈70時間〉（50分授業）

▼前期〔34時間〕

◎はじめに

- ◆姿勢と執筆 ◆用具、教材 ◆楷書、行書の古典作品の鑑賞（漢字の書を含む）

◎臨書 古典作品を中心に

◎臨書 古典作品を中心に

◎鑑賞 行書の古典作品及び臨書の古典作品

▼後期〔36時間〕

◎創作 短歌、俳句等

◎臨書

- ◆漢字仮名交じり文の書 古典を生かして書く

- ◆自分自身の表現力を付ける ◆暮らしに書を生かす

◎篆刻

教科名	芸術	科目名	書道 I	授業担当者名	山口 紀幸
-----	----	-----	------	--------	-------

4 課題・提出物等

毎時間ごとに作品提出

5 主な評価の方法

・提出作品（毎時間） ・学習態度

6 評価の観点

書への関心 ・意欲 ・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。
書表現の構想と工夫	書によさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。
鑑賞の能力	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書によさや美しさを創造的に味わっている。

教科名	芸術	科目名	美術 I	履修単位数	2単位	履修年次	2～4年次
授業形態	一斉授業						
履修条件	特になし						
使用準教科書	高校美術1（日文）						
副教材等	特になし						
授業担当者	齋藤 直子						

1 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 指導のねらい

- ・デッサンをとおして表現力を伸ばす。
- ・鑑賞する能力を身に付ける。

3 指導計画（70時間）（50分授業）

▼前期〔34時間〕

- ◎オリエンテーション
- ◎デッサン
 - ◆身近なものを描く
- ◎デザイン 色彩・配色の基礎
 - ◆ポスター作成
- ◎デザイン
- ◎版画の制作
- ◎作品の鑑賞

▼後期〔36時間〕

- ◎絵画の制作
 - ◆文化祭へ向けた作品づくり
- ◎版画の制作

教科名	芸術	科目名	美術 I	授業担当者名	齋藤 直子
-----	----	-----	------	--------	-------

4 課題・提出物等

デッサン、版画等の作品

5 主な評価の方法

・作品提出 ・学習態度

6 評価の観点

美術 への 関心 ・ 意欲 ・ 態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
発想 や構 想の 能力	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
創造 的な 技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。
鑑賞 の能 力	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わうことができる。